

きづまりより来る、必然的恐慌は、全く印刷業界を文字通りの言語に絶する深刻なる不振のドン底にタ、キ陥した。

彼等印刷業者は之が打開策のために、巧妙なる搾取方法を構じつゝある、徒弟制度の如きもその一である。本案の撤廢のため我が組合は徹底的に闘争を續けて来た。

七、臨時休業手當要求に關する件
本問題は出版印刷労働者の生活を脅す極めて重大なる問題故我が組合は之に全力をそゝぎ各支部と相協力して之が實現に努力して来た戸越支部、麻布支部、其の他に於ては臨林中の日給六割を獲得してゐる、尙此の問題に就いて各支部は全力を上げつゝある。

昭和七年度メーデー

滿蒙事變を契期として捲き起されたる國家非常時と、加ふに資本主義最後の過程に於ける必然的の恐慌の嵐の中に第十三回メーデーは迫つた。我が

- 八、鉛毒手當要求に關する件
- 九、職業病保障に關する件
總同盟全國大會に提出され、職業病、工場法の改正、健康保險法の改正等と一括論議可決され、大會に於て實行委員が選任され其の委員中に吾組合の大野爲五郎君も選出され社會局並に監督官廳を訪問之が實現のため一大努力がなされた。
- 十、労働組合法獲得運動に關する件
全總同盟を擧げて、あるいは労働俱樂部に、あるいは社會民衆黨と協力、之が通過を努力したが、資本家の走狗既成政黨の馬鹿者共に握りつぶされた。
- 十一、名稱變更の件
一時保留

て獲得すべく努力して遂に、總同盟をて司會團體の榮光を得せしめた。

司會者原虎一君指揮の下に芝浦埋立地より昭和通りを一路上野の公園に一大示威運動を敢行した我が組合の参加者は左の如くである。

- 總同盟参加人員總數 二千七百名
- 出版印刷 二千七百名
- 戸越支部 七〇 麻布支部 三六
- 神田第三支部 四〇 神田第二支部 〇

總同盟全國大會

日時 昭和六年十二月十五、十六、十七日三日間
場所 東京 日本労働會館

- 我が組合より議案としては
- 一、寄宿徒弟制度撤廢に關する件
 - 二、出版産業職業病保障に關する件
 - 三、労働組合法獲得に關する件
- 右の三案を提出、出席代議員、それぞれ發言し、右案の實現に奮闘す。

- 神田第三支部 三二 麴町支部 二〇
- 神田第二支部 十六 落合支部 七
- 小石川牛込其他 三四 芝支部 三〇
- 直屬 六二
- 總指揮 梅澤重美
- 副指揮 金子助二郎
- 代表演說者 大迫榮二
- 前衛隊長 西谷徳藏

出席代議員

- 麻布支部 中澤忠吉
- 戸越支部 若杉熊太郎
- 神田第一支部 大野爲五郎
- 神田第二支部 高橋菊藏
- 管谷修一
- 以上